

# 1 イタチ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おくいけ けんこう もりこうえん など  
奥池、あいち健康の森公園など



すいでん かわ いけ いしがき き ねもと す つく  
水田や川、池などの石垣や木の根元に住みかを作り、ネズミやカエル、昆虫などを食べる。体毛は茶色。体長は30cmぐらい。頭は平らで、胸が長いのが特徴。水辺で泳ぐのが得意で、木にも登る。最近、住める場所が少なくなってきた。

# 2 タヌキ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおぶ こうえん など  
大府みどり公園など



やこうせい ざっしょくせい かつめい かじつ  
夜行性のいきもの。雑食性で、カエルや魚、果実も食べる。主に林に住んでいるが、最近では虫が落ちてくる側溝にいることもある。体毛は黒褐色。体長は50cmぐらい。

# 3 ヌートリア

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おくいけ いしが せがわしゅうへん など  
奥池、石ヶ瀬川周辺など



とくていがいらいせいぶつ けがわ たいりょう ゆにゆう  
特定外来生物。毛皮をとるために大量に輸入された。体毛はこげ茶色。体長は50cmぐらい。みずべ しょくぶつ た さいでん はな さくもつ ひがい  
水辺の植物を食べるが、水田や畑の作物が被害がでている。泳ぐ姿がビーバーやカワウソに似ている。

# 4 モグラ

見やすい季節 春・夏(3月~8月)

大府市で見やすい場所 おくいけ けんこう もりこうえん など  
奥池、あいち健康の森公園など



ほ つち お だ つく  
掘った土を押し出してトンネルを作り、モグラ塚と言われる小山を作る。鼻先が太く、土を掘るために前足が大きく、尾が短い。昆虫やミミズを食べる。体毛は灰褐色。体長は15cmぐらい。

## 5 ヤマカガシ

見やすい季節 春・夏・秋(5月～11月)

大府市で見やすい場所 ながくさはちまんしゃ いしがせがわしゅうへん  
長草八幡社、石ヶ瀬川周辺など



このたすいでんみずべおおカエルを好んで食べるため、水田や水辺に多い。おとなしいヘビだが、奥歯と頸部に毒腺があるため、深くかまれるととても危険。頭が赤く、大きくなると1mを超えるものもいる。

## 6 カナヘビとトカゲ

見やすい季節 春・夏・秋(5月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん のうこうち  
大倉公園、農耕地など



カナヘビ トカゲ

カナヘビは乾燥した場所を好み、全身茶色でウロコが目立つ。トカゲはウロコにツヤがあり、幼体はシッポが虹色なので、大府小学校では「虹色トカゲ」との愛称がある。体長20cmぐらい。

## 7 ヤモリ

見やすい季節 春・夏・秋(5月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん しがいち  
大倉公園、市街地など



やこうせい いえあか くるむした 夜行性で、家の灯りによって来る虫を食べることから「守宮」と書き、古くから親しまれている。あしうらしかばんよ つか 足の裏の指下板と呼ばれるうろこを使って、ガラスや壁を登る。体長15cmぐらい。体が柔らかい。

## 8 クサガメ

見やすい季節 春・夏・秋(4月～11月)

大府市で見やすい場所 ほしな いけ さかいがわ  
星名池、境川など



たいちよう かわいけ す しな い 体長は30cmぐらい。川、池に住み、市内ではほしな いけ み ざっしょくせい みずくさ 星名池でよく見られる。雑食性で、ミミズ、水草などを食べる。クサガメは足の付け根から臭い匂いを出すことから名がついた。

## 9

## アカミミガメ

外来

見やすい季節 春・夏・秋(4月~11月)

大府市で見やすい場所 しらは いけ ふた ついけこうえん  
白紗池、二ツ池公園など

こがめ みどりいろ あい よ  
小亀は緑色で愛らしく、ミドリガメと呼ばれる。  
め よこ あか はい な  
目の横に赤いラインが入ることから名がついた。  
たいちよう はんしよくりよく つよ がいらいしゆ  
体長は50cmぐらい。繁殖力が強い外来種で、  
あいちけん はな きんし  
愛知県では野外に放すことが禁止されている。

## 10

## ウシガエル

外来

見やすい季節 春・夏(5月~9月)

大府市で見やすい場所 ふた ついけこうえん さかいがわ  
二ツ池公園、境川など

とくていがいらいせいぶつ しよくにきよう も こ  
特定外来生物。食肉用にアメリカから持ち込まれ  
た大型のカエルで、アメリカザリガニや小魚など  
を食する。繁殖力が強く、牛のように低い声で鳴く。  
たいちよう はんしよくりよく つよ うし ひく ごえ な  
体長20cmぐらい。おたまじゃくしは2年かけて  
そだ 育つ。

## 11 カダヤシ

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん さかいがわ  
大倉公園、境川など

とくていがいらいせいぶつ に たいちよう  
特定外来生物。メダカに似ている。体長は4cm  
ぐらい。背びれが丸い。雑食性で、小さな昆虫や、  
せ まる ざっしよくせい ちい こんちゆう  
プランクトンを食べる。ポウフラ(蚊の幼虫)を好  
んで食べ、「蚊絶やし」と呼ばれる。卵胎生で仔魚  
を産むため、メダカより繁殖力が高い。

## 12 メダカ

希少

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 いしがせがわ さかいがわ  
石ヶ瀬川、境川など

せ へいこうしへんけい どうぶつせい おも  
背びれが平行四辺形。動物性プランクトンを主に  
た なが おがわ すいろ  
食べる。流れのゆるい小川や水路にいるが、カダ  
ヤシの増加や、環境の変化などにより数が減少し、  
2003年に絶滅危惧種に指定された。体長  
は3cmぐらい。

## 13 ヌマチチブ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 いしがせがわさかいがわ 石ヶ瀬川、境川など



いけ ちゅうりゅうの かわ せいそく いわ ふちやく  
ため池や、中流域の川に生息する。岩などに付着  
している藻を食べ、産卵期になると体と斑点の色  
が変わり、石に卵を産み付ける。市内では境川な  
どで見られる。体長は15cmぐらい。

## 14 モツゴ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん ほしな いけ 大倉公園、星名池など



からだ ちゅうおう せん くち ちい  
体の中央に線がある。口が小さいことからクチボ  
ソとも呼ばれる。雑食性で、藻や虫の幼虫を食べる。  
汚水や環境の変化に強く、石垣やコンクリート壁  
を好むため、増えてきている。体長は8cmぐらい。

## 15 ワカサギ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん おくいけ ニツ池公園、奥池など



しな いちようすい なが こ いけ おお せいそく  
市内では、愛知用水が流れ込むため池に多く生息  
する。水の汚れなど環境の変化に強い。主に、  
動物性プランクトンを食べる。体長は14cmぐら  
い。

## 16 ブラックバス

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん きたさきおくいけ ニツ池公園、北崎大池など



とくていがいらいせいぶつ たいりょう  
特定外来生物。体長は50cmぐらい。アメリカか  
ら芦ノ湖(神奈川県)に移入された。適応力が高い。  
親が仔魚を守るため、繁殖力が高く、急速に生息  
地域を拡大している。雑食性で、他種の幼魚や虫  
を食べる。

# 17 ブルーギル

外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん さかいがわ 二ツ池公園、境川など



とくていがいらいせいぶつ ざっしよくせい すいちゆうこんちゆう こぞかな この  
 特定外来生物。雑食性で、水生昆虫や小魚を好んで食べる。エラ（ギル）の後部分が青みがかったりすることから名付けられた。体長は25cmぐらい。ブラックバス同様、親が仔魚を守る。

# 18 カワナ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おくいけ おおくらこうえん など 奥池、大倉公園など



しない ひかくてきみず あさ かわ いけ すいろ  
 市内では比較的水のきれいな浅い川や池、水路で見られる巻貝。ホタルの幼虫のエサとなる。体色はこげ茶色。体長は3cmぐらい。卵胎生。

# 19 テナガエビ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 いしが せがわ さかいがわ 石ヶ瀬川、境川など



やこうせい にちゆう みずくさ ねもと いわ かげ かく  
 夜行性で、日中は水草の根元や岩の陰に隠れている。肉食性で、小魚や水生昆虫を食べる。体長は10cmぐらい。雄は体長の倍ぐらいあるハサミを持ち、黒っぽい。雌は雄よりハサミが小さく、透明。

# 20 アメリカザリガニ 外来

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん さかいがわ 二ツ池公園、境川など



とくていがいらいせいぶつ とうしがえルのエサとしてきた  
 特定外来生物。ウシガエルのエサとして北アメリカから持ち込まれた。池や川、水田、水路の泥の中を好んで、生息している。ハサミは雄のほうが大きい。体長は15cmぐらい。冬は穴を掘って中で過す。

水の中の生き物

## 21 ツグミ

見やすい季節 秋・冬(10月～3月)

大府市で見やすい場所 あいち健康の森公園、大府みどり公園など

鳴き声 「キュッキュッ」「ツイー」



はら くら はんてん 腹に黒の斑点があり、羽は あかやいろ 10月頃か  
ら おお ぐん と 飛んでくる冬鳥である。美のついで  
てい きん ちゆう おお 木や昆虫が多いところで見られる。体長は  
20cmぐらい。

## 22 ハクセキレイ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 しな いぜん いき 市内全域

鳴き声 「チチチュン」



せ くら かお しろ 背は黒く、顔は白い。地上を歩き回ったり、少し  
と あ 飛び上がったりしてエサの昆虫を食べる。公園や  
こう てい しが いち 校庭、市街地でもよく見ることができる。体長は  
20cmぐらい。よく似たセグロセキレイも見られ  
る。

## 23 チョウゲンボウ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 なが くさ はちまんしゃ おお ぶ 長草八幡社、大府みどり公園など

鳴き声 雄:「キッキッキ」雌:「キーキー」



こがた 小型のハヤブサ類。肉食性で、ねずみなどの小さい  
ほにゆうるい 昆虫や た はたけ そうげん みわた 哺乳類や昆虫を食べる。畑や草原などの見渡  
しのよい環境にある大きな木に住む。体長は  
35cmぐらい。翼を広げると80cmぐらい。

## 24 コアジサシ

希少

見やすい季節 春・夏(4月～8月)

大府市で見やすい場所 ふた つい けいこうえん きたさきおおいけ 二ツ池公園、北崎大池など

鳴き声 「キリッキリッ」「キュルキュル」



ぜつめつきぐしゅ 絶滅危惧種。子育てに日本にやってくる夏鳥。  
かわら うめたてち こいし す つく 河原や埋立地に小石で巣を作る。侵入者に対して  
しゅうだん 集団で威嚇する。空中でホバリングしながらエサ  
をさがす 探し、水中に飛び込んで小魚を捕らえる。体長  
は25cmぐらい。翼を広げると50cmぐらい。

外来 …外来種(特定外来生物含む)

希少 …希少種(絶滅危惧種含む)

## 25 コゲラ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん ふた つ いけこうえん 大倉公園、二ツ池公園など

鳴き声 「キツキツキ」「ギーギー」



日本に住むキツキツキの中で一番小さい。木にくちばしで穴を空け、虫を食べるが、木の実も食べる。雑食性。灰色と白のまだら模様。体長は15cmぐらい。スズメと同じぐらいの大きさ。

## 26 キジ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん のうこう ち 東山小学校周辺、農耕地など

鳴き声 「ケツケーツ」



日本の「国鳥」。草原、農耕地で見られる。飛ぶのは苦手だが、走るの速い。体長は雄で80cmぐらい、雌で55cmぐらい。雄は青緑色で、美しい。「チョットコイ」と鳴くキジの仲間のコジュケイも市内で見られる。

## 27 ケリ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん すいでん 東山小学校周辺、水田など

鳴き声 「キリリリ」「ケリツ」



ミミズやカエル、昆虫などをエサとしている。くちばしは短く、黄色で先端が黒い。足が長い。畑や水田、川のそばに生息している。体長は35cmぐらい。飛んでいる姿はカモメに似て、羽を閉じるとハトに似ている。名前は鳴き声から名付けられた。

## 28 カワセミ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ほしな いけ けんこう もりこうえん 星名池、あいち健康の森公園など

鳴き声 「ツッピー」「チツピツ」



水辺に生息する。鮮やかな水色の体色で美しい。水辺の石や枝の上から水中に飛び込み、長いくちばしで小魚や水生昆虫を捕らえる。体長は15cmぐらい。赤土の崖に穴を掘って巣を作る。

## 29 コサギ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん くらなが せがわ  
二ツ池公園、鞍流瀬川など

鳴き声 「グワァー」「ガァー」「グラララ」



はね しろ 羽は白く、くちばしは細長くて黒い。足も細長く  
くろ けい 指は黒いが、ゆび きいろ すいでん かわ いけ みずべ  
て黒いが、指は黄色。水田や川、池などの水辺  
せいそく こざかな あき た たいちよう  
に生息し、小魚やカエルなどを食べる。体長は  
60cmぐらい。アオサギやダイサギ、アマサギ、  
ゴイサギなどのサギ類も市内で見られる。

## 30 ムクドリとヒヨドリ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ムクドリ: ひしやましようがっこうしゅうへん  
ヒヨドリ: おおひらこうえん  
東山小学校周辺など  
大倉公園など

鳴き声 ムクドリ: 「ギャーギャー」「ギョルギョル」  
ヒヨドリ: 「ヒーヒー」「ヒーヨヒーヨ」



ムクドリは一年中群れで生活し、夕方、大群でね  
ぐらに入る。木の実や地上の昆虫類を食べる。ヒ  
ヨドリは秋に群れ、木の上で生活する。花びら、  
はな みつ くだもの やさい は この  
花の蜜、果物、野菜の葉も好む。ムクドリは20cm  
ぐらい、ヒヨドリは30cmぐらい。

## 31 カワラヒワ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 おお ぶ 大府みどり公園など  
おお ぶ こうえん

鳴き声 「キリリ」「コロ」「チョンチョンジュイン」



くちばしが太く、くすんだ緑色の翼に黄色が混じ  
る。体長は15cmぐらい。スズメと同じぐらいの  
おお しょうぶ たね この た む こうどう  
大きさ。植物の種を好んで食べる。群れで行動す  
るが、木の葉に隠れるので見つけにくい。

## 32 ツバメ

見やすい季節 春・夏(4月～9月)

大府市で見やすい場所 しがいち 市街地など

鳴き声 「チュピーツヒ」



子育てに日本にやってくる夏鳥。飛行に適した  
ほそなが たいけい と こんちゆう た お  
細長い体型で、飛びながら昆虫を食べる。尾がV  
じがた たいちよう じんか しょうてんがい  
字型。体長は15cmぐらい。人家や商店街などの  
ひとどお ども か くさ あ  
人通りがあるところに、泥や枯れ草をこね合わせ  
す つく  
た巣を作る。

鳥類

## 33 ウチワヤンマ

見やすい季節 春・夏(5月～9月)

大府市で見やすい場所 白紗池、奥池など



5～9月頃に羽化する。腹部の先に扇状の尾をもつので名がついた。体長は7cmぐらい。体色は黄色と黒。池や川の側で見ることができる。縄張り意識が高い。

## 34 ギンヤンマ

見やすい季節 春、夏(4月～10月)

大府市で見やすい場所 白紗池、市役所の池など



日本全域で見られる大型のトンボ。体長は7cmぐらい。昼間に水辺を飛び回り、飛翔能力が高い。高速で飛ぶので捕まえるのは難しい。雌は水辺の草に卵を産むため、水草がないところでは、増えることはできない。

## 35 ショウリョウバッタ

見やすい季節 夏、秋(7月～10月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん 東山小学校周辺など



緑色で頭の形がひょうたん型の大きなバッタ。住む場所によって目立たない体色に変わる。雄は飛ぶときに音を出すので「キチキチバッタ」とも呼ばれる。雄は5cm、雌は8cmぐらい。日本最大のバッタ。

## 36 クルマバッタモドキ

見やすい季節 夏、秋(7月～10月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん 東山小学校周辺など



草原や農耕地にてよく見られる。背中に白い「X」の模様があるが、よく似たクルマバッタにはない。後羽には輪のような模様がある。体長は4cmぐらい。

## 37 オオカマキリ

見やすい季節 春、夏、秋(4月~10月)

大府市で見やすい場所 おお ぶ こうえん ながくさはちまんしゃ 大府みどり公園、長草八幡社など



にほんさいだい たいちよう す 日本最大のカマキリ。体長は10cmぐらい。住む ばしょ たいしょく か にくしょくせい じぶん 場所によって体色を変える。肉食性で、自分より ちい むし この た たまご らんしやう めだ 小さい虫を好んで食べる。卵(卵鞘)をよく自立 ところ に産みつける。

## 38 エンマコオロギ

見やすい季節 夏、秋(8月~10月)

大府市で見やすい場所 おく いけ ながくさはちまんしゃ 奥池、長草八幡社など



にほん なか み 日本のコオロギの中でもっともよく見られる。 たいちよう くさはら のうこうち せいそく か 体長は3cmぐらい。草原や農耕地に生息し、枯 れ草の下を好む。雑食性。「コロコロリー」と鳴き、 あき ふうぶつし かお だいろう に 秋の風物詩でもある。顔がエンマ大王に似ている ため名がついた。

## 39 カブトムシ

見やすい季節 夏(6月~8月)

大府市で見やすい場所 みたつ いけこうえん ニッ池公園、 あいち健康の森公園など



せいちゆう 成虫はクヌギ、コナラ、ヤナギなどの樹液に集まる。幼虫は、腐葉土を食べて育つ。雌には角が無い。 たいちよう こども にんき 体長は5cmぐらい。子供に人気がある。成虫は ばこ う し ふゆ ようちゆう す 卵を産むと死に、冬は幼虫で過ごす。

## 40 コクワガタ

見やすい季節 夏(6月~8月)

大府市で見やすい場所 みたつ いけこうえん ニッ池公園、 あいち健康の森公園など



しない み 市内でよく見られるクワガタ。成虫はクヌギなど の樹液に集まり、幼虫は朽木を食べる。他のクワ ガタよりも小さく、たいちよう 体長は4cmぐらい。1、2年 で成虫になり、3年ぐらいは生きられる。

## 41 ナナフシ(ナナフシモドキ)

見やすい季節 春・夏(5月～9月)

大府市で見やすい場所 ふたつ いげこうえん  
二ツ池公園など



体長は8cmぐらい。棒状の虫。敵から身を守るため、植物の茎や枝に色や形を似せる。サクラ、コナラなどの葉を食べる大人しい虫。森や林で見られる。

## 42 タマムシ

見やすい季節 夏(7月～8月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん なagakさばちまんしゃ  
大倉公園、長草八幡社など



全体に緑色の金属光沢がある美しい虫。体長は4cmぐらい。サクラなどの周囲に生息し、葉を食べる。死んでも色が変化しないので装飾に用いられることもある。枯れたマツを好むウバタマムシは、色がこげ茶。

## 43 クマゼミ

見やすい季節 夏(7月～8月)

大府市で見やすい場所 しなせいんいき  
市内全域



体が黒く、大きく透明な羽を持つセミ。体長は6cmぐらい。「シャアシャア」と鳴く。鳴く時間帯は主に午前中。10年ほど前までは、アブラゼミが多く見られたが、最近では都市化の影響でクマゼミが多くなってきた。

## 44 ツマグロヒョウモン

見やすい季節 春、夏、秋(4月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん なagakさばちまんしゃ  
大倉公園、長草八幡社など



4～11月の間に多く見られる。体長は4cmぐらい。羽はオレンジ色で黒い斑点があり、雌は先端が黒い。幼虫はスミレ類を食べ、花壇のパンジーも食べるのでよく見られるようになった。幼虫はトゲだらけの毛虫。毒はない。

## 45 ナガサキアゲハ

見やすい季節 春、夏、秋(4月~10月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん 大倉公園など



ひょうめん くろ まえばね うら あか もん たいちょう  
 表面が黒く、前羽の裏に赤い紋がある。体長は  
 10cmぐらい。いぜん にしにほん でしか見られなかつ  
 たが、現在は関東でも見られる。ツマグロヒョウ  
 モンとともに温暖化の指標としても注目されてい  
 る。幼虫はミカン類を食べる。

## 46 ジャコウアゲハ

見やすい季節 春、夏(4月~8月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん さかいがわ 大倉公園、境川など



たいちょう あとはね なな こうほう ほそなが の  
 体長は8cmぐらい。後羽が斜め後方に細長く伸  
 びる。さかいがわしゅうへん おお み おす はね こうたく  
 の 境川周辺で多く見られる。雄の羽は光沢の  
 ある黒色だが、雌は明るい褐色。幼虫はウマノス  
 ズクサ類を食べ、独特な形をしている。卵は赤い。

## 47 ヒメボタル

見やすい季節 春、夏(5月~7月)

大府市で見やすい場所 さかいがわしゅうへん 境川周辺など



たいちょう  
 体長は7mm。ゲンジボタルやヘイケボタルより  
 ひとまわ ちい かに くろ くび あか ようゆう た  
 一回り小さい。体は黒く、首が赤い。幼虫が食べ  
 る ちい さなカタツムリの おお もり しゅうへん どて  
 小さなカタツムリの多い森の周辺や土手などで  
 そだ しない がつけじゆん がつじょうじゆん ひか  
 育つ。市内では5月下旬から6月上旬によく光る。

## 48 モリチャバネゴキブリ

見やすい季節 春、夏、秋(4月~11月)

大府市で見やすい場所 ながくさはちまんしゃ おお ぶ こうえん 長草八幡社、大府みどり公園など



たいちょう おお ば した  
 体長は1cmぐらい。落ち葉などの下にいることが  
 おお いえ たてもん しんにゅう ふようど  
 多く、家などの建物には侵入してこない。腐葉土  
 が おお もり はやし み 見られる。はね いろ うす かた  
 が多い森や林でよく見られる。羽の色が薄く、体  
 は ちゃいろ おくないせいしゅ よ  
 茶色である。屋内性種のチャバネゴキブリと良  
 に たま たてほうこう もよう  
 く似ており、頭の縦方向の模様がチャバネは「八」  
 の字で、モリチャバネは「0」に見える。

## 49 クチナシ

見やすい季節 夏(花・6月～7月)

大府市で見やすい場所 しやくしよ わかいばたこうえん 市役所(向畑公園)など



おおぶし「市の花」。6～7月に純白でよい香りの花を咲かせる。10～11月ごろに橙色の実をつける。乾燥させた実は食品の着色料や染料として用いられる。

## 50 クロガネモチ

見やすい季節 秋、冬(実・10月～2月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん おおぶ 大倉公園、大府みどり公園など



おおぶし「市の木」。5～6月に薄紫色の花をつけ、秋に真っ赤な実をつける。若枝は紅紫色(鉄色)になっている。同じ仲間でトリモチが取れる緑の枝のモチノキも市内では多い。共和西小学校には黄色の実のクロガネモチがある。

## 51 スイレン

見やすい季節 夏(花・6月～8月)

大府市で見やすい場所 しらはいけ 白紗池、ひがしやましやうがっこうしやうへん 東山小学校周辺(マス池)など



すいせいしよくぶつ ふと こんけい 水生植物。太い根茎をはわせる。6月～8月ごろ、水面上に美しい花を咲かせる。いろいろな團芸品種があり、花の色は白色や黄色、桃色など様々である。

## 52 サクラ

見やすい季節 春(花・3月～4月)

大府市で見やすい場所 しらはいけ がっこう こうえん 白紗池、学校、公園など



はる ふうぶつし しゆるいじやう 春の風物詩。サクラは400種類以上ある。よく目にするのはソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオシマザクラ、カワツザクラ、シダレザクラなど。学校にはソメイヨシノが多数植えられている。

## 53 ツククサ

見やすい季節 夏(花・6月～9月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん  
東山小学校周辺など



マルバツククサ

ツククサ

畑の端や道端で見かけることの多い雑草。夏に3cmぐらいの青い花をつける。晴れた日は午前中で花を閉じる。市内にはマルバツククサ、ハカタカラクサ、ヤブミヨウガなどのツククサの仲間が見られる。

## 54 ツリガネニンジン

見やすい季節 夏、秋(花・8月～10月)

大府市で見やすい場所 ひがしやましようがっこうしゅうへん さかいがわ  
東山小学校周辺、境川など



8月から10月頃に、薄い紫色のつりがね型の花を咲かせる。草原や管理された川の土手で見られる。高さは1mぐらい。春の山菜「トトギ」して知られている。

## 55 アベマキ

見やすい季節 秋(実・9月～10月)

大府市で見やすい場所 あいち健康の森公園、大府みどり公園など



ブナ科の落葉高木。クヌギと似ているが、葉の裏に茶色の毛があり、樹皮のコルク層がよく発達する。樹高は20mぐらい。秋に丸いドングリができる。知多半島ではクヌギよりアベマキのほうが多い。2年で実になる。

## 56 クヌギ

見やすい季節 秋(実・10月～11月)

大府市で見やすい場所 あいち健康の森公園、大府みどり公園など



ブナ科の落葉高木。葉の裏は緑でつやがある。市内では公園に多く見られる。樹高は20mぐらい。樹皮は暗い灰褐色で縦に割れ目ができる。樹液に昆虫がよく集まる。2年で実になる。

## 57 コナラ

見やすい季節 秋(実・10月～11月)

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん おおくらこうえん  
二ツ池公園、大倉公園など



か らくようこうぼく じゆひ はいにくしよく たて わ め  
ブナ科の落葉高木。樹皮は灰黒色で、縦に割れ目  
はい じゆこう はな がつ ひら  
が入る。樹高は20m ぐらい。花が4～5月に開  
あき み  
き、秋に実ができる。ドングリはアベマキ・クヌギ  
くら ほそ ちい ねん み  
に比べて、細くて小さい。1年で実になる。

## 58 ツブラジイ

見やすい季節 秋(実・10月～11月)

大府市で見やすい場所 おおくらこうえん  
大倉公園など



か らくようこうぼく じゆひ あんかつしよく  
ブナ科の落葉高木。樹皮は暗褐色でなめらか。ド  
な なか いちばんちい まる み じゆこう  
ングリの中では一番小さい丸い実をつける。樹高  
は25m ぐらい。5～6月にクリに似た匂いの花  
を つ ける。2年で実になり、食べられる。よく似  
たスタジイが、市内の公園には植えられているこ  
とが多い。

## 59 マツ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 ながくさはちまんしゃ おおくらこうえん  
長草八幡社、大倉公園など



か しんようじゆ  
マツ科の針葉樹。アカマツ、クロマツ、アイグロ  
ま はる はな さ ねん  
マツなどがある。春に花が咲き、3年ぐらいか  
じく しく おお しんじや  
て熟し、マツボックリを落とす。市内では神社に  
おお み  
多く見られる。

## 60 シャシャンボ

見やすい季節 秋(実・11月)

大府市で見やすい場所 ふたつ いけこうえん おおぶ こうえん  
二ツ池公園、大府みどり公園など



か じょうようじゆ は たまごがた はうら しゆやく ちい  
ツツジ科の常葉樹。葉は卵形で、葉裏の主脈に小  
はな がつころ さ み がつころ  
さなトゲがある。花は7月頃に咲く。実は11月頃  
くろ じく あます た  
に黒く熟し、甘酸っぱく食べられる。ブルーベリー  
なかま  
の仲間。

## 61 イグサ

見やすい季節 一年中

大府市で見やすい場所 奥池、白紗池など



イグサ科の草。湿地や浅い水中に生える植物。高さは1mぐらい。茎は丈夫で、乾くとよい香りがある。畳表やゴザ、帽子、枕の素材として昔から利用されてきた。

## 62 ガマ

見やすい季節 夏・秋(穂・8月~10月)

大府市で見やすい場所 奥池、二ツ池公園など



池や沼などの水辺に生える。高さは1mぐらい。水中の泥の中に地下茎を伸ばす。夏に茎を伸ばし、円柱型の穂をつける。市内ではヒメガマ、コガマが見られる。

## 63 ホルトノキ

見やすい季節 秋(実・9月~11月)

大府市で見やすい場所 大倉公園、二ツ池公園など



ホルトノキ科の常緑高木。樹高は20mぐらい。7~8月につりがね状の白い花が咲き、オリーブに似た緑の実をつける。緑の葉に赤い葉が混ざる。学校や公園によく植えられている。知多半島の山によく見られる。

## 64 タンポポ

見やすい季節 春(花・3月~5月)

大府市で見やすい場所 市内全域



黄色い花が咲く。綿毛のついた種子をつける。市内では外来種のセイヨウタンポポ、アカミタンポポ、在来種のトウカイトンポポ、シロバナタンポポが見られる。外来種は一年中見られるが、在来種は夏に葉が枯れて、10月ごろまで休眠する。